

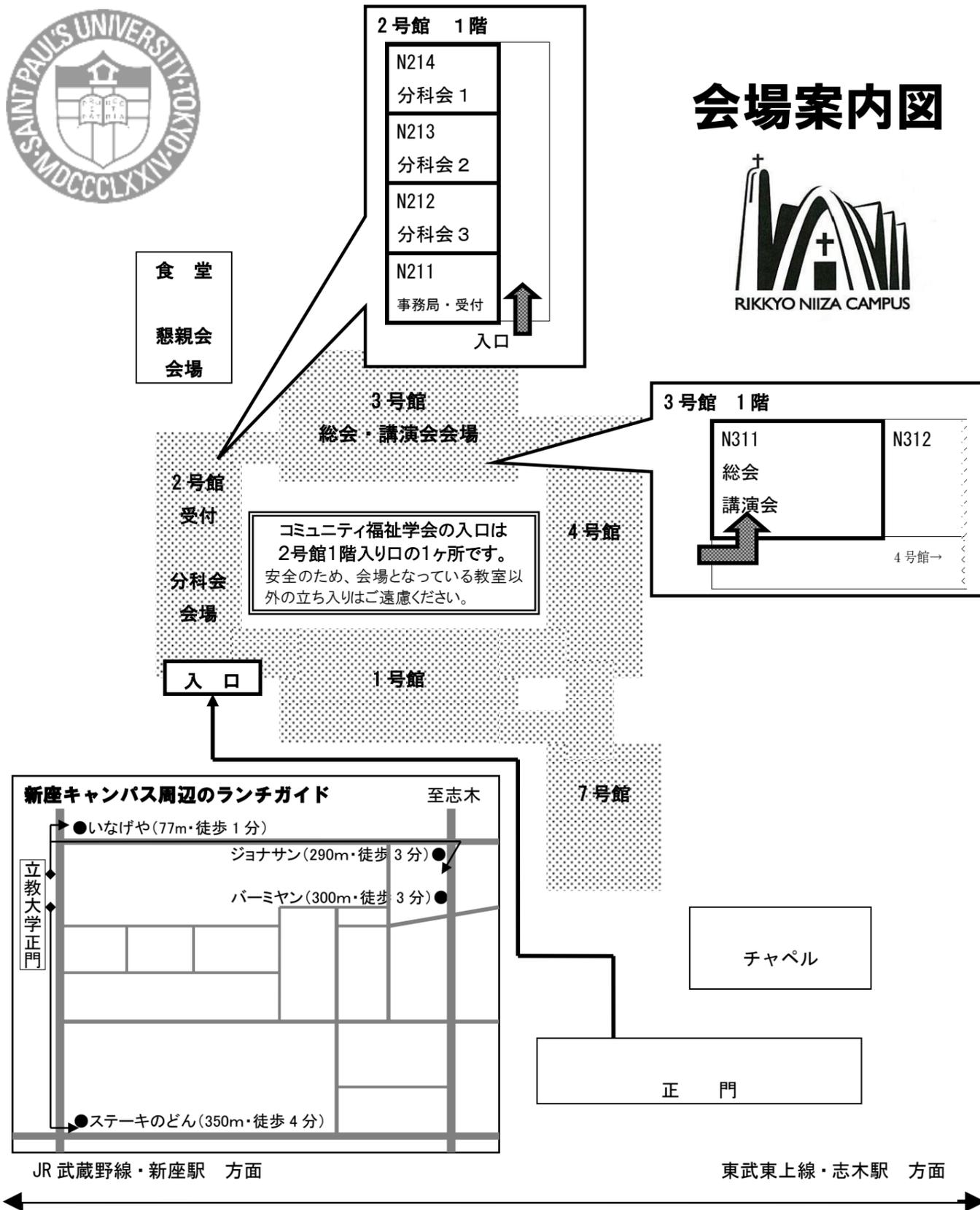


第3回年次大会 10.11.14, Sun

# 支え合う社会をどうつukっていくか

— 無縁社会の現実から…

## 会場案内図



**10:00**  
- 12:00

### 分科会 N214, N213, N212

昼食は是非、学生食堂をご利用ください。

この日のために特別営業される学食では、懐かしいメニューを揃えてお待ちしております。  
11時から13時までの営業です。

**13:00**  
- 13:30

### 総会 N311

**13:45**  
- 15:45

### 講演会 N311

加藤 彰彦(野本 三吉)氏  
「人間とコミュニティの再発見 - 沖縄からのメッセージ」

**16:00**  
- 17:15

### 車座座談会 N214

**17:30**  
- 19:00

### 懇親会 学生食堂

●○● information ●○●

+ ご質問、お困りのことなどがございましたら、2号館1階 N211 教室前の受付までお越しください。

+ 立教大学コミュニティ福祉学会“まなびあい”では、ボランティアとして運営委員になってくださる卒業生・在校生を募集しています。運営委員会は毎月1回、土曜日の夜、池袋キャンパスで開かれています。関心のある方は、事務局(担当:田口)までお問い合わせください。

+++ 新座キャンパス5号館3階 コミュニティ福祉研究所内 コミュニティ福祉学会事務局 ☒ cchs@grp.rikkyo.ne.jp +++

# 支え合う社会をどうつukっていか

## 一無縁社会の現実から…

「無縁社会」は、社会と個人、人と人のつながりが薄れつつある社会を指し、マスコミを中心に取り上げられるようになってきました。私たちは、成長していく中で地縁や血縁といった様々な縁を得ている一方で、家族や故郷との縁を失った人が存在する現実があります。また、都市化や核家族化といった社会構造の変化によって無縁という言葉は、より身近なものになりつつあります。

一方で、近年、厳しい社会経済の情勢のもと、就労や家庭生活が不安定な立場にあり、安定した住居を確保できないホームレスやネットカフェ難民、また就労が難しい中で育児を行うシングルマザーといった人が顕在化しています。こうした人は、困窮・要介護・障害といった何らかの要因により生活困難を抱えていることに加えて、その背景として無縁であることが多く、社会からの孤立が懸念されています。

こうした無縁状態にある人たちが困難を抱えたときに、より良く生きていけるような社会を考えると、制度による社会保障はもちろん、それを運用する実務者、そうした制度の隙間を補う社会的な活動といったことが必要になってくると考えられますが、私たち個人にまず求められるのは、こうした人がこの社会にいることへの私たちの気付きではないでしょうか。

今大会では、無縁社会の現実と向き合うことを出発点として、どのように支えあう社会をつukっていくかを考えることをテーマとして掲げました。「まなびあい」らしく、大学でのまなび、臨床現場での気づき、そして研究活動での知見から、考えていきたいと思ひます。

### ●●● 講演会 ●●●

## 山本 雅基 氏

### 「行き場を失った人の山谷のホスピス『きぼうのいえ』の試み

#### — ケアの思想とその展開 —



#### 山本 雅基

1963年生まれ、46歳。日本聖公会所属。日航機墜落事故のニュースをきっかけに聖職者を志し、上智大学神学部を卒業後、「NPO 法人ファミリーハウス」の事務局長を務める。2002年4月、緊急一時保護施設「なかよしハウス」、同年10月に在宅ホスピスケア対応型集合住宅「きぼうのいえ」を開設。2010年1月に公開された山田洋次監督の映画『おとうと』のモデルになった。  
◆著書：『山谷でホスピスやっています。』実業之日本社、2010。  
『東京のドヤ街・山谷でホスピスははじめました。—「きぼうのいえ」の無謀な試み』実業之日本社、2006。

### ●●● 懇親会 ●●●

+参加費は学生と院生は無料、卒業生は1000円です。  
軽食とソフトドリンクをご用意しています。

+++必ず受付(2号館1階正門側入口)を済ませられてからご参加いただきますよう、ご協力をお願いします+++

### ●●● 分科会 ●●●

#### 分科会 1 N214

橋本ゼミ (現場実習体験グループ)

「チームアプローチについて」

服部ゼミ (現場実習体験グループ)

「施設生活する利用者の尊厳」

若林 俊郎 (コミュニティ福祉学研究所博士課程前期課程2年)

「保育園の委託化と賃金・雇用問題」

コーディネーター：平野貴大

#### 分科会 2 N213

藤井ゼミ(コミュニティ政策学科2年)

「社会的企業の可能性とその基盤条件 —各種社会的企業のヒアリング調査から—」

藤井ゼミ (コミュニティ政策学科3年)

「社会的企業の現場を体感しながら考えた問題解決のビジョン —社会的企業(社会的起業家)の可能性—」

伴瀬 晴美 (コミュニティ福祉学部4期生/ジョンソン・アンド・ジョンソン社会貢献委員会)

「企業の社会的責任と、自社の活動紹介を中心とした企業の社会貢献について」

コーディネーター：寺脇幹彦

#### 分科会 3 N212

大冢賀政昭、飯村新司、大川真央、石川雄太、島田将太、林聖純

シンポジウム：行政・医療機関・福祉施設の立場から考える要援護者の支援

—コミュニティにおける包括支援の実現に向けて—

### ●●● 総会 ●●●

1. 運営委員長挨拶 橋本正明 コミュニティ福祉学部学部長
2. 年間活動報告
3. 個人情報の取扱について
4. 運営委員の承認

